

その気づきを次のアクションへ

ローカルベンチマーク

次のアクション



気づき

明確化

企業向けローカルベンチマーク

※本表は、企業向けローカルベンチマークの概要を示すためのものです。詳細は、本表の下部に掲載されている「企業向けローカルベンチマークの活用方法」を参照してください。

項目	内容
1. 目的	企業向けローカルベンチマークの活用目的は、企業の経営状況を把握し、経営改善のための施策を立案することです。
2. 対象企業	本表は、中小企業を対象としています。
3. 活用方法	本表は、企業の経営状況を把握し、経営改善のための施策を立案するためのツールとして活用されます。
4. 活用効果	本表を活用することで、企業の経営状況を把握し、経営改善のための施策を立案することが可能となります。

企業向けローカルベンチマーク

※本表は、企業向けローカルベンチマークの活用方法を示すためのものです。詳細は、本表の下部に掲載されている「企業向けローカルベンチマークの活用方法」を参照してください。

項目	内容
1. 目的	企業向けローカルベンチマークの活用目的は、企業の経営状況を把握し、経営改善のための施策を立案することです。
2. 対象企業	本表は、中小企業を対象としています。
3. 活用方法	本表は、企業の経営状況を把握し、経営改善のための施策を立案するためのツールとして活用されます。
4. 活用効果	本表を活用することで、企業の経営状況を把握し、経営改善のための施策を立案することが可能となります。

企業向けローカルベンチマーク

※本表は、企業向けローカルベンチマークの活用方法を示すためのものです。詳細は、本表の下部に掲載されている「企業向けローカルベンチマークの活用方法」を参照してください。

項目	内容
1. 目的	企業向けローカルベンチマークの活用目的は、企業の経営状況を把握し、経営改善のための施策を立案することです。
2. 対象企業	本表は、中小企業を対象としています。
3. 活用方法	本表は、企業の経営状況を把握し、経営改善のための施策を立案するためのツールとして活用されます。
4. 活用効果	本表を活用することで、企業の経営状況を把握し、経営改善のための施策を立案することが可能となります。



経済産業省

Ministry of Economy, Trade and Industry



強みを活かした経営をしよう！

- 環境変化の大きな現代では、会社の強み(資産)を経営に活かすことが重要です。
- 会社の資産には、建物や機械などの「目に見える資産」の他に、例えば、人脈やブランド、チームワークの良さなどの「目に見えない資産」があります。
- 「目に見えない資産」はお金に換算することが難しく、会社内部の人でも気づいていないことがあります。しかし、会社の強みとは、本来これらを総合したものです。
- 会社の強みを把握し、それを活かして業績の向上に結びつける経営をすることを、「知的資産経営」と呼んでいます。

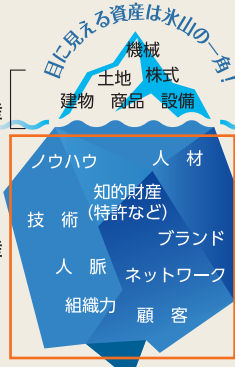


会社の強み(資産)とは…

本当にそれだけ?

目に見える資産

目に見えない
資産=知的資産



強みを活かした経営の実践!
(知的資産経営)

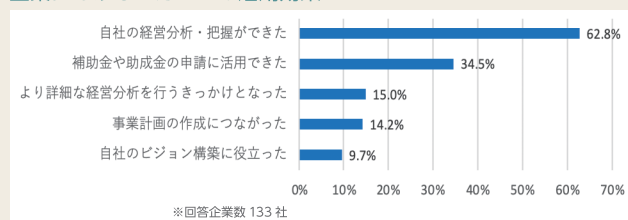
知的資産経営を実践すると、こんなメリットがあります。

- 経営者や従業員が会社の強みに気づくきっかけになる。
- 従業員が会社の戦略を理解することに繋がり、一体感が向上する。
- 外部の人(金融機関・取引先・地域など)に対して会社の強みを明確に説明できる。
- 会社の魅力と方向性を伝えやすくなり、会社にマッチする人材の確保に繋がる。
- 後継者に会社の全容を伝えることができ、事業承継が円滑になる。

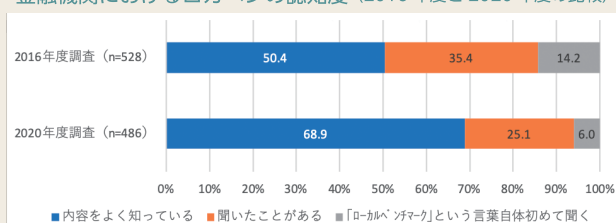
経済産業省では、知的資産経営を実践するための「入口」として 「ローカルベンチマーク」(通称:ロカベン)を提供しています。

ロカベンとは、企業と支援機関、金融機関の対話のきっかけとなる枠組み(共通言語)としての活用も期待されています。

企業におけるロカベンの活用効果



金融機関におけるロカベンの認知度 (2016 年度と 2020 年度の比較)



多くの企業から高い評価！

ロカベンを活用した**約63%**の企業から「自社の経営分析・把握ができた」、**約35%**の企業から「補助金や助成金の申請に活用できた」との評価をいただいています！

出典：経済産業省「平成30年度産業経済研究委託事業（ローカルベンチマーク活用促進に向けた取組の調査）」



金融機関も多数活用！

ロカベンは地域金融機関の認知度が非常に高く、地銀、信金、信組において、ほぼ**100%**の認知度があります！



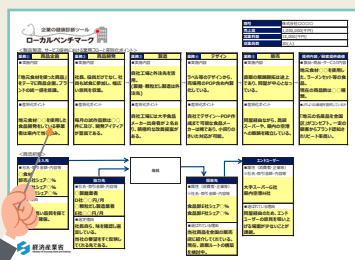
ローカルベンチマーク (通称：ロカベン) とは

- ロカベンとは、3つのシートに会社の情報を記入することで、経営状態や経営に活かすことのできる強みを把握することができるツールです。
- 記入にあたっては、「社長1人で」「社員のみなで」「支援機関や金融機関を交えて」など、様々な取組方法があり、それぞれにメリットがあります。

シート①

業務フロー・商流

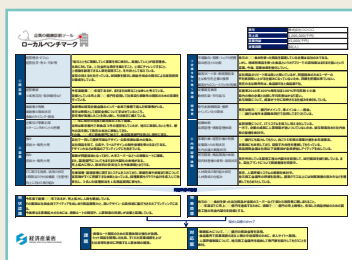
製品・商品・サービスを提供する流れを整理



シート②

4つの視点

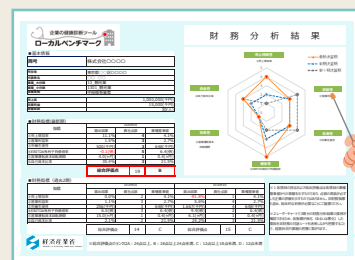
経営全体を様々な視点から整理



シート③

財務分析

決算書情報を入力して財務状況を分析



「業務フロー・商流」、「4つの視点（経営者、事業、企業を取り巻く環境・関係者、内部管理体制）」のシートには知的資産経営の考え方が取り入れられており、会社の見えない強みに気づき、経営に活かすきっかけとなります。

まずは実践！

- ロカベンを作成する目的は、会社の強みを見える化しながら会社の将来像を描き、課題とアクションを明確化することです。
- 明確化した内容をもとに次のアクションを行きましょう。

繰り返し
ロカベンに
取り組む

強み

価値・魅力

新しい
可能性

気づき

将来像

課題

明確化

次のアクション

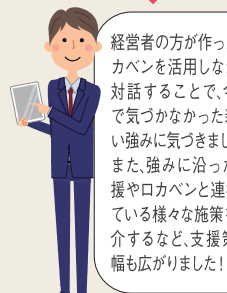
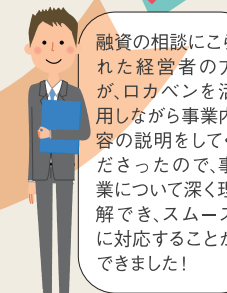
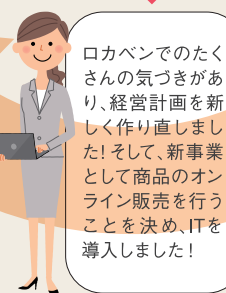
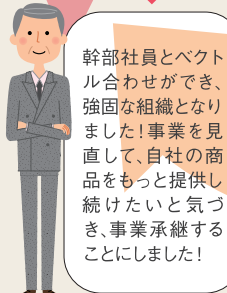
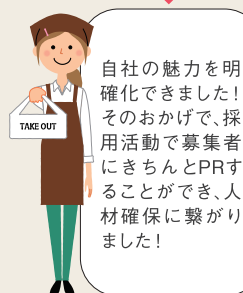
会社PR
人材確保

組織力強化
後継者確保

経営計画
新事業展開

金融機関との
対話

支援機関との対話
支援措置の活用



実際にロカベンを活用した皆さんから、たくさんの「やってよかった！」の声が上がっています。



ロカベンの活用事例

事例企業
大林製菓株式会社
(岩手県一関市)

事業内容
お餅の製造・販売

- 既存の顧客・取引先に安心・安全な商品を提供することに注力していた。
- 一関商工会議所よりロカベンに取り組むようアドバイスを受けた。

商工会議所とともにロカベンを作成



気づき

●既存顧客からのリピートや紹介が主体で、約10年程受け身の体制であり、営業活動を行っていなかったことに気づいた。従来の営業方法だけでなく、自社の良さを伝え、新市場の開拓をしていく必要があると気づいた。

次のアクション

●ロカベンで整理した情報をもとに、今までよりもはっきりとした事業計画を立てることができた。
●対外的なプロモーションを行うためのチームを組み、SNSの活用によるPRやHPの作成、オンラインショップの設置を行い、ブランディングに向けた活動を開始。

結果

●新しい市場開拓とブランディングへの第一歩を踏み出した！
●ロカベンに取り組んでいたことで、自社の強みやその強みを提供するまでの流れを整理することが出来たので、外部環境の変化（コロナ禍）に対しても、自社の強みである安心・安全な商品作りのために自社が何をすればよいか判断でき、影響を最小限にとどめることができた。

大林製菓株式会社 代表取締役 大林学さんからのひとこと

ロカベンを行って頭の整理に繋がり、自社の強みや特徴が潜在から顕在に変わりました。自分では気づけなかったことも多く、気付きや整理した内容自体が自社の財産になりました。



ロカベンを詳しく知りたい方へ

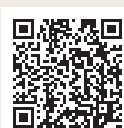
ロカベンを動画で分かりやすく紹介しています。是非ご覧ください！



短編 (1 分程度)



長編 (10 分程度)



すぐに取り組みたい、もっと知りたい方へ

ロカベンシートやマニュアルなどもっと詳しい情報はロカベンで検索！



ロカベン



で検索！

こちらからも！

知的財産もお忘れなく！

目に見えない資産（知的資産）の一部であるノウハウ、技術、ブランドなどを守る制度として「知的財産権」と呼ばれる権利があります。知的財産権は、自社の権利を保護するだけでなく、他社とのライセンスや、営業ツールとしても使える、ビジネスチャンスに活かせる権利でもあります。その知的財産権の権利の取得から活用に至るまで、企業が抱える知的財産に関する課題を解決するための**無料**のワンストップ窓口として「**知財総合支援窓口**」を全国 47 都道府県に設置しています。是非ご利用ください！

支援事例等を紹介しています。

知財総合支援窓口



で検索！



経済産業省

Ministry of Economy, Trade and Industry

作成 東北経済産業局